

不適合情報

2026年9月7日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 10件

NO.	号機等	不 適 合 事 象	発 見 日	備 考
1	1号機	原子炉複合建屋(管理区域)北東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/09/01	
2	3号機	濃縮廃液系シール水タンク液位計に、計器精度の逸脱を確認した。調査の結果、指針のずれと判明。当該液位計を校正し復旧済み。	2026/07/29	
3	6号機	循環水ポンプ用天井クレーン点検において、位置検出スイッチの動作不良を確認した。当該スイッチを交換。	2026/08/27	
4	6号機	取水口除塵装置が自動／半自動の運転ができないことを確認した。除塵装置スクリーン洗浄ポンプタイマーの不具合と推定。当該事象の原因を調査し対応策を検討。なお、手動での運転は可能で取水に影響なし。	2026/08/31	
5	6号機	発電機ガス系水素冷却計装ラック純度計流量調整弁の固着を確認した。当該調整弁を交換。	2026/08/04	
6	6号機	サービス建屋地下2階(非管理区域)ホットシャワードレン系タンク室前に、必要事項(仮置面積)が記載されていない仮置表示の資機材があることを確認した。必要事項を記入済み。	2026/08/20	
7	7号機	タービン建屋地下中2階(管理区域)復水脱塩装置苛性ソーダ計量槽室に、溢水対策の影響評価は実施済みであるものの、必要事項(仮置面積)が記載されていない仮置表示の資機材があることを確認した。必要事項を記入済み。	2026/07/08	
8	7号機	タービン建屋1階(管理区域)復水ろ過装置メンテナンス室に、必要事項(仮置面積)が記載されていない仮置表示の資機材があることを確認した。必要事項を記入済み。	2026/07/09	
9	7号機	原子炉建屋中3階(非管理区域)所内温水系弁室に、必要事項(仮置面積)が記載されていない仮置表示の資機材があることを確認した。必要事項を記入済み。	2026/08/05	
10	その他	大湊側屋外で型枠組立作業に従事していた協力企業作業員が、休憩中に体調不良を訴えたことから救急車を要請し医療機関へ搬送。診察の結果、熱中症の疑い、急性腎障害と診断。当該事例を関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止を徹底。 【2026年9月3日公表済み】 https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/press/pdf/2026/20260903p.pdf	2026/09/02	